

都市再生整備計画

ぜんつうじしちゅうしんしがいちちく
善通寺市中心市街地地区

香川県善通寺市

令和7年2月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	☐
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	☐
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	☐
まちなかウォークアブル推進事業	☒

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)－②

都道府県名	香川県	市町村名	善通寺市	地区名	善通寺市中心市街地地区	面積	100.3	ha
計画期間	令和	7	年度	～	令和	11	年度	
					交付期間	令和	7	年度
						～	令和	11
							年度	

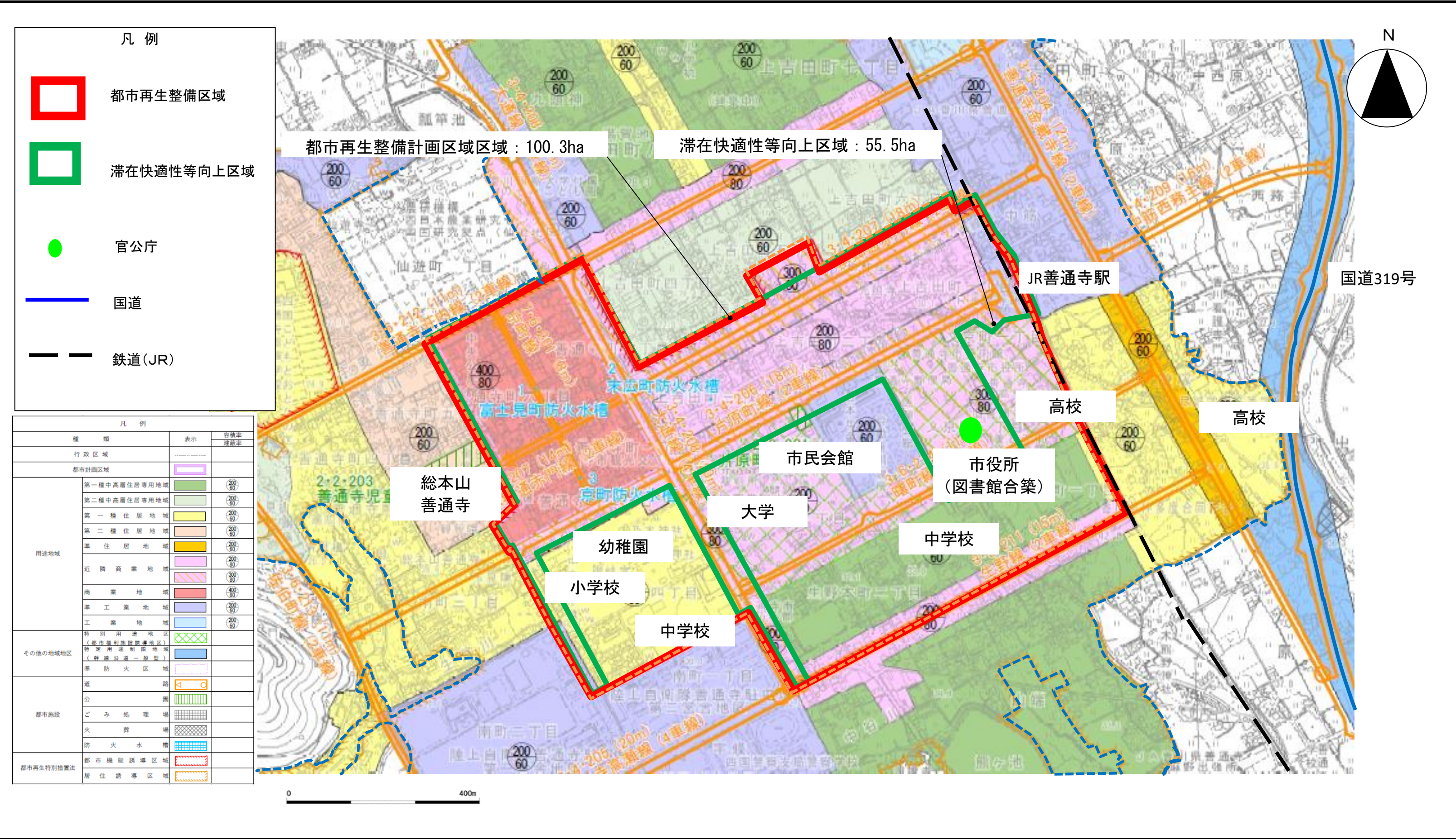
目標
大目標「住んでみたい、住みつけたいまち、善通寺」 ・善通寺駅を中心とした快適な歩行空間の創出 ・空間を活用した官民一体となったにぎわいの創出
目標設定の根拠
まちづくりの経緯及び現況 善通寺市では、「第6次総合計画」(令和3年度)において、「都市機能の活性化・魅力の向上」を基本方針の一つに掲げ、これを受けて策定された「第2次都市計画マスタープラン」や「善通寺市立地適正化計画」では、将来都市構造として4つのエリア(拠点)を定め、エリアごとに集約した都市構造を目指している。 そのうち、中心エリアでは善通寺市の玄関口であるJR善通寺駅を中心に、本市を代表する観光地である総本山善通寺を結ぶ県道善通寺停車場線や図書館を複合した善通寺市役所、それに隣接して都市公園である偕行社広場がある。 JR善通寺駅は、年間約3,000人の乗降客数があり、主として善通寺駅周辺のエ教育機関(大学を含む)への通学や、善通寺市役所周辺の公的機関への通勤に利用されている。善通寺駅前に位置する駅前広場は、平成5年から平成16年にかけて、交通広場をベースに設計され、供用開始した。 また、当地区内では、令和2年度から令和6年度にかけて、都市構造再編集支援事業を活用して図書館(市役所庁舎合築)と都市公園等の整備を実施し、老若男女の交流の場となった。 しかし、各施設は整備されたものの、点での整備にとどまっているため、善通寺駅から総本山善通寺までの間の回遊性の向上には、歩行者目線の整備と賑わいの創出方法を検討する必要がある。
課題
・周辺施設の整備が完了し、今後歩行者数の増が見込まれるため、回遊性をポイントとした歩行者目線の整備・充実が求められている。 ・空間の活用方法などを社会実験をとおして確認・見える化し、機運を高めていくことが必要。
将来ビジョン(中長期)
①第6次善通寺市総合計画(2021-2030)(令和元年度策定) ・市街地の都市機能の再編 ・図書館合築の市役所を基点とした環境整備 ・市街地回遊軸の強化 ②第2次善通寺市都市計画マスタープラン(2020-2040)(令和4年度策定) 【市街地の回遊性を高める都市基盤の整備】 ・立地適正化計画に基づく都市機能の誘導 ・やすらぎを感じるウォーカブル空間の創出 ・安全で快適な歩道の整備 ・回遊環境の検討に基づく整備 ③善通寺市立地適正化計画(2020-2040)(令和2年度策定) 【市内のネットワークの強化】 ・公共施設と連携した乗り換え結節点の整備 ・善通寺駅における拠点性の強化 ④善通寺駅周辺地区再生基本計画(未来ビジョン)(2023-)(令和5年度策定) ・回遊の基盤作り(市道一高西側線道路空間再配分)
一体型滞在快適性等向上事業及びまちなかウォーカブル推進事業の計画 ※一体型滞在快適性等向上事業の場合もしくはまちなかウォーカブル推進事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。
滞在快適性等向上区域の考え方 JR善通寺駅を拠点とし、駅から西側約1200mに位置する総本山善通寺までの県道および市道を回遊軸として、回遊性向上に向けた歩行者目線の空間づくり、を実施する。 滞在快適性等向上区域での取組 市道一側線において、公園と一体的に活用できる空間を創出し、その空間の活用方法や賑わいの創出の術を社会実験をとおして確認する。

目標を定量化する指標								
	指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
	占用及び行為件数	回／年	市道一高西側線及び偕行社広場における占用、行為件数	賑わいある空間を活用した催し等の数が増加する。	1回／年	R7年度	3回／年	R11年度
	歩行者数	人／日	市道一高西側線周辺の歩行者数	やすらぎを感じるウォーカブル空間の創出により歩行者数が増加する。	1,012人／日	R7年度	1,100人／日	R11年度

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
【居心地が良く歩きたくなる空間づくり】 ・歩行者の利便性・JR善通寺駅から市役所の回遊性の向上を図るために、県道善通寺停車場線に接続する市道一高西側線にて歩行者が居心地良く歩ける空間整備を実施する。 ・市道一高西側線を起点として、社会実験を通じて、歩行者空間での滞留施設の設置や周辺に存する教育機関の催し・隣接する公園での催しの際に利用してもらい、楽しい空間と感じてもらうよう検討する。		【基幹事業】（高質空間形成施設）市道一高西側線空間再配分 【基幹事業】（滞在環境整備事業）市道一高西側線社会実験 【提案事業】（事業活用調査）事業効果分析
	【施設整備によるにぎわいの創出】 ・JR善通寺駅から総本山善通寺までの回遊軸の回遊性を向上させる。 ・回遊軸の中間地点であり、整備した集客施設である図書館、都市公園周辺での賑わいを創出する。	【基幹事業】（高質空間形成施設）市道一高西側線空間再配分 【基幹事業】（滞在環境整備事業）市道一高西側線社会実験 【提案事業】（事業活用調査）事業効果分析 【提案事業】（まちづくり活動推進事業）まちづくり啓発活動
その他		
【住民等参加による善通寺駅周辺地区未来ビジョン策定】 ○エリアプラットフォーム「善力よろず隊」(任意団体)設立(令和5年8月) ・善通寺駅周辺地区再生基本計画(未来ビジョン)の策定(令和6年3月) 上記団体が事業をスムーズに推進できるよう、関係機関とネットワークを構築し、開催費用を参加費等で賄うなど、収益を上げる事業へ成長できるように側面支援を行う。 また、多くの関係機関とネットワークを構築することで、機運の熟成、多様な視点を持った人材発掘、新規出店者などを発掘し、持続可能なまちづくりに繋げる		

善通寺市中心市街地地区(香川県善通寺市)

面積	100.3	ha	区域	文京町一丁目～四丁目、善通寺町一丁目～二丁目、善通寺町六丁目～七丁目、生野本町一丁目～二丁目、上吉田町一丁目～三丁目の全部、上吉田町五丁目の一部
----	-------	----	----	--



善通寺市中心市街地地区(香川県善通寺市) 整備方針概要図

目標	大目標「住んでみたい、住みつけたいまち、善通寺」 ・善通寺駅を中心とした快適な歩行空間の創出 ・空間を活用した官民一体となったにぎわいの創出	代表的な指標	占用及び行為件数	回／年	1回／年	R7年度	→	3回／年	R11年度
			歩行者数	人／日	1,012人／日	R7年度	→	1,100人／日	R11年度

